

本書の特色

算数

この本は、小学校の学習内容を短期間で総復習するためにつくられたテキストです。中学校での学習の基礎になる内容を中心にまとめてありますので、中学校での学習の土台づくりに最適です。

1 数と計算のしくみ

例題1 小数と整数のしくみ・倍数と約数
次の□に当てはまる数を書きなさい。
(1) 5.6を100分の1にしてできる数は□です。
(2) 0.25kmは□mです。
(3) 8と12の最小公倍数は□です。

図解
(1) 1の100分の1は0.01。
(2) 1km=1000mより、0.1km=100m、0.01km=10m
(3) 倍数は、もとの数を1倍、2倍、3倍…してできる数。
8の倍数 8, 16, 24, 32, …
12の倍数 12, 24, 36, …

確認しよう
① □に当てはまる数を書きなさい。
□1) 860000は、千を□個集めた数です。 ()
□2) 0.01を450個集めた数は、□です。 ()
□3) 1.4を100倍した数は、□です。 ()

② 次の問いに答えなさい。
(1) 四捨五入して、 $\frac{1}{10}$ の位までの数がいしなさい。
□① 12.62 () □② 4.087 ()
(2) □に当てはまる数を書きなさい。
□① 0.1L=□mL () □② 0.01m=□cm ()

③ ()内の数の、最小公倍数と最大公約数をそれぞれ書きなさい。
□1) (8, 10) () □2) (6, 9, 15) ()

(最小公倍数: , 最大公約数:) (最小公倍数: , 最大公約数:)

例題

その課で覚えることから使った代表的な問題とその解き方を示しています。

確認しよう

まとめて学習した内容を確認するための問題です。

確認テスト

別冊確認テストがついていますので、理解度のチェックに役立ててください。

1 数と計算のしくみ、小数の計算

① □に当てはまる数を書きなさい。
(1) 60を100分の1にしてできる数は□です。 ()
(2) 0.2Lは□mLです。 ()
(3) 24と56の最大公約数は□です。 ()

② 計算しなさい。わり算は、わりきれぬまでしなさい。
(1) $5.16+7.4$ (2) $14-1.6$ ()
(3) 10.6×8 (4) 1.68×2.9 ()
(5) $3.24 \div 0.6$ (6) $39 \div 7.5$ ()
(7) $7+8 \times 25$ (8) $3 \times (52-42 \div 3)$ ()

③ □に当てはまる数を書きなさい。
(1) $3.5 \div \square = 2.5$ ()
(2) $96 \div 25 = 100 \times 25 - \square \times 25$ ()

④ 次の問いに答えなさい。
(1) まきさんは、昨日、陸上部の練習で、3.4km走りました。今日は、昨日の1.6倍のきりを走りました。今日は何km走りましたか。 ()
(2) 12.5kgのうどんを、1.4kgずつふくらに分けてつめます。ふくらはいくつできて、さどりは何kgあまりですか。 ()

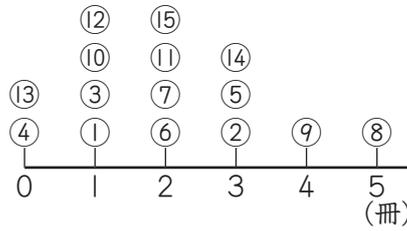
もくじ

番号	単元名	ページ	学習予定日	学習日	☑	番号	単元名	ページ	学習予定日	学習日	☑
1	数と計算のしくみ	2	/	/		13	図形の拡大や縮小	26	/	/	
2	小数の計算	4	/	/		14	面積	28	/	/	
3	分数のしくみと計算	6	/	/		15	円	30	/	/	
4	分数のかけ算とわり算	8	/	/		16	立体	32	/	/	
5	平均と単位量あたり	10	/	/		17	体積	34	/	/	
6	速さ	12	/	/		18	ともなって変わる量	36	/	/	
7	割合①	14	/	/		19	比例と反比例①	38	/	/	
8	割合②	16	/	/		20	比例と反比例②	40	/	/	
9	比	18	/	/		21	場合の数	42	/	/	
10	垂直・平行と四角形	20	/	/		22	資料の調べ方	44	/	/	
11	合同な図形と角	22	/	/		23	仕上げのテスト	46	/	/	
12	対称な図形	24	/	/							

22 資料の調べ方

例題1 ドットプロットと代表値

右の図は、あるクラスの子ども15人の1ヶ月に読んだ本の冊数を調べて、ドットプロットに表したものです。



- 平均値を求めなさい。
- 中央値を求めなさい。
- 最ひん値を求めなさい。

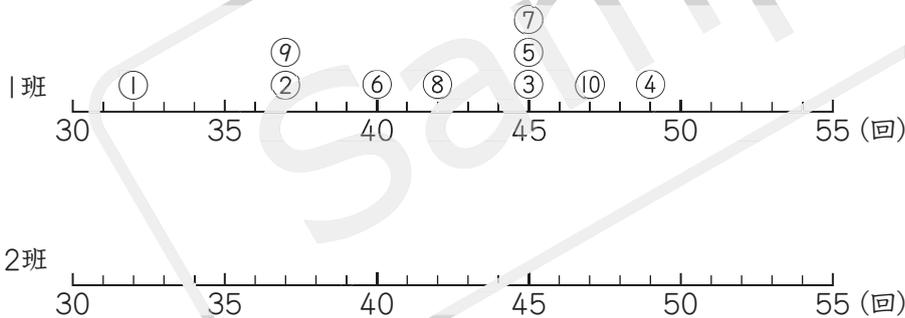
解き方

- $(0 \times 2 + 1 \times 4 + 2 \times 6 + 3 \times 2 + 4 \times 1 + 5 \times 1) \div 15$
- 人数が15人なので、冊数の少ない(多い)方から8番目の人の冊数。
- 最も多くでてくる冊数。

答 (1) 2冊 (2) 2冊 (3) 1冊, 2冊

確認しよう

- 1** 右の表は、あるクラスの1班の10人と2班の10人の二重とびの記録です。また、下の図は、1班と2班の記録をドットプロットに表そうとしたもので、1班だけが書かれています。



番号	1班	2班
①	32	40
②	37	30
③	45	50
④	49	44
⑤	45	32
⑥	40	48
⑦	45	48
⑧	42	35
⑨	37	53
⑩	47	40

(単位：回)

- 2班のとんだ回数をドットプロットに表しなさい。
- 記録が広いはんにちらばっているのは、1班と2班のどちらですか。
()
- 1班の平均値は、41.9回です。1班と2班の平均値は、どちらが大きいですか。2班の平均値を求めてくらべなさい。
(2班の平均値) , () 班が大きい。
- 1班と2班の中央値をそれぞれ求めなさい。
(1班 :) , (2班 :)

例題2 度数分布表と柱状グラフ

右の表は、あるクラスの子ども30人のソフトボール投げの結果です。

- (1) 投げたきょりが長い方から数えて10番目の人は、何m以上何m未満のはんいに入っていますか。
- (2) 投げたきょりが20m未満の人は、全体の何%ですか。

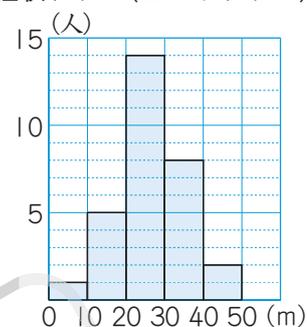
きょり(m)	人数(人)
以上 未満 0~10	1
10~20	5
20~30	14
30~40	8
40~50	2
合計	30

これだけは覚えよう

【以上, 以下, 未満】

- 以上…○と等しいか, 大きい
○以下…○と等しいか, 小さい
○未満…○よりも小さい
(○は入らない)

【柱状グラフ(ヒストグラム)】

**解き方**

- (1) 1番目と2番目の人は、40m~50mのはんいにいるので、30m~40mのはんいの人は3番目から10番目。
- (2) 人数は $1+5=6$ (人) $6\div 30=0.2$

答 (1) 30m以上40m未満 (2) 20%

確認しよう

1 右の表は、あるクラスの子ども12人の、国語と算数のテストの得点です。

- (1) 国語と算数の得点のちらばりを、下の度数分布表にまとめなさい。

番号	国語(点)	算数(点)	番号	国語(点)	算数(点)
①	86	82	⑦	72	92
②	60	72	⑧	86	90
③	86	72	⑨	72	68
④	76	82	⑩	66	80
⑤	94	86	⑪	72	74
⑥	56	60	⑫	90	80

- (2) 得点のちらばりのはんいが広いのは、どちらの教科ですか。

- (3) 得点の中央値は、それぞれ何点以上何点未満のはんいにくまれていますか。

(国語: 点以上 点未満)

(算数: 点以上 点未満)

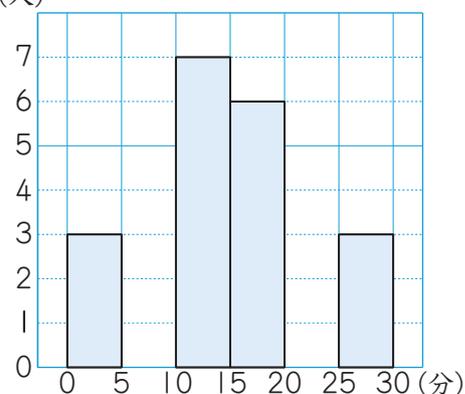
得点(点)	国語(人)	算数(人)
以上 未満 50~60		
60~70		
70~80		
80~90		
90~100		
合計	12	12

2 右の図は、ある学校の6年1組30人の通学時間を柱状グラフにまとめていると中のものです。

- (1) 通学時間が5分以上10分未満の人は全体の20%です。右のグラフを完成させなさい。

- (2) 通学時間が0分以上10分未満の人は全体の何%にあたりますか。

- (3) あかねさんの通学時間は17分です。通学時間が長い方から数えて、何番目から何番目の間にいますか。考えられるいちばん小さい番号といちばん大きい番号を答えなさい。



(番目から 番目)